

# 平成24年深谷市教育委員会第9回定例会会議録

深谷市教育委員会

## 平成24年深谷市教育委員会第9回定例会

日 時	平成24年9月11日(火)
	開 会 午後1時30分
	閉 会 午後2時20分
場 所	教育委員会 3階 大会議室
出席委員	委 員 長 柿 澤 俊 雄 委員長職務代理者 田 中 章 子 委 員 西 倉 郁 夫 委 員 柿 沼 敬 一 教 育 長 小 柳 光 春
出席職員	教 育 次 長 島 崎 保 次 長 五十嵐 治 郎 次 長 神 田 昌 文 兼学校教育課長 次 長 澤 出 晃 越 教育総務課長 佐 藤 靖 彦 教育施設課長 大 川 清 生涯学習課長 武 井 茂 図書館長 伊 藤 茂 隆
書 記	教育総務課 柴 野 晃 彦 企画調整係長

## 1 開会

委員長が開会を宣告

## 2 前回議事録の承認

第8回定例会の会議録を全員異議なく承認。

## 3 会議録署名委員の指名

委員長が田中委員（2号委員）及び柿沼委員（4号委員）を指名。

## 4 会議の概要

### （1）会議

- ① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について  
教育総務課長より報告
- ② 報告2 工事請負契約等の締結について  
教育施設課長より説明
- ③ 報告3 小中学校及び幼稚園における放射線量測定結果について  
教育施設課長より説明
- ④ 報告4 平成24年度全国学力・学習状況調査の結果について  
学校教育課長より説明
- ⑤ 報告5 深谷市教育委員会だより「こころざし第8号」（平成24年9月発行）について  
学校教育課長より説明
- ⑥ 報告6 平成24年度深谷市チャレンジのテスト問題について  
学校教育課長より説明

### 発言の要旨

- ① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について  
委員長 事務局より説明を求めます。  
教育総務課長 （概要を説明）  
委員長 本報告について、質疑はありませんか。  
柿沼委員 4番の公益財団法人モラロジー研究所とは何ですか？  
教育長 モラルという言葉から来ています。千葉にある麗澤大学の創始者が中心となって設立し、日本全国に何十カ所も研修所があります。宗教ではなく、公衆道徳や個人道徳を高めてよい社会をつくること目的として活動している団体です。
- ② 報告2 工事請負契約等の締結について  
委員長 事務局より説明を求めます。  
教育施設課長 （概要を説明）

委員長 本報告について、質疑はありませんか。  
西倉委員 これですべての小学校、中学校にエアコンの設置が完了しましたか。  
教育施設課長 小学校については今回すべて設置が完了しました。中学校については一足早く6月末に完了しております。

③ 報告3 小中学校及び幼稚園における放射線量測定結果について

委員長 事務局より説明を求めます。  
教育施設課長 (概要を説明)  
委員長 本報告について、質疑はありませんか。  
委員長 大部分の小中学校は、4回目より5回目のほうが数値が小さくなっていますが、例えば大寄小学校などは数値が大きくなっているところが多いですが、なにか原因が考えられますか。  
教育施設課長 この部分は、屋根に溜まった放射性物質が雨に流されて雨どいを伝って落ちるため放射線量が多い場所です。屋根には凹凸もあり、いっぺんに流れ出ることがないものですから、多少屋根に残っていたものが流れ出たことが想定できます。

④ 報告4 平成24年度全国学力・学習状況調査の結果について

委員長 事務局より説明を求めます。  
学校教育課長 (概要を説明)  
委員長 本報告について、質疑はありませんか。  
委員長 15ページの<深谷市の算数・数学の課題>の2番目のところの資料の活用ですが、私の経験からすると年度の終わりごろに学習するものかと思えます。そのため資料の活用における学習時間が少し足りなかったことが原因なのかなと推測されるのですが、どうでしょうか。  
学校教育課長 今年度から中学校で新学習指導要領が全面実施になっていますが、算数・数学につきましては、全面実施の前から資料の活用について指導していきまして、時間数も増えています。確かに平成21、22年度には、1年生の様子をみていますと、年度末ですので時間数も減ってきて短時間ですましているということがありました。これが深谷市の課題でもありましたので、教育研究協議会とも連携を図り、適切な移行が進むよう資料等を作成し、その結果、おおむね満足できる状況となっております。  
教育長 補足します。16ページをご覧ください。資料1ですが、全国と埼玉県と深谷市の結果が棒グラフで示してあります。比較しておりますが、ある意味では完全な比較ではありません。全国と埼玉県は抽出校のデータを表示してありますので、深谷市も抽出校のデータを入れるべきです。しかし、小学校であれば抽出校は全19校中1校でしかなく、データの正確

性にやや疑問があります。そのため、深谷市は全校希望参加していますので、学校の独自採点ではありますが、全校のデータを入れてあります。ですから、おおざっぱな深谷市の傾向を示している程度にとらえていただければと思います。

なお、報道によりますと、来年度は全校実施となりますので、そうならば正確な比較ができるようになると思います。

⑤ 報告5 深谷市教育委員会だより「こころざし第8号」(平成24年9月発行)について  
委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

委員長 最後の各園、各学校のところですが、人間関係づくりといえますと、よく学級経営の充実のことが言われると思いますが、学校経営のなかに入るものでしょうか。

学校教育課長 特別活動等の年間指導計画にもきちんと入っています。

柿沼委員 いじめに係る相談窓口ということで、「深谷イーネット」相談専用ダイヤルとありますが、実際にはどうのようになっていますか。

学校教育課長 「深谷イーネット」については、毎日9:00~16:30まで専門員2名が、電話、FAX、電子メールに対応しています。実際には週に1、2回位、学校でのトラブルのあった子供やその保護者からの相談がありまして、その内容を専門員が分析した後で、学校に伝えて、連携を図りながら改善を図っています。最近多いのは、母親から自分の子供とのかかわり方についての相談です。

また、最近になって相談の件数が増えたということはありません。週に数件のペースです。

⑥ 報告6 平成24年度深谷市チャレンジのテスト問題について

委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

教育長 先ほどの全国学力・学習状況調査の結果の報告で意外だったのが、特に算数のA問題が弱いということです。A問題は基礎的な問題です。したがって、このチャレンジは基礎基本から活用まで網羅されているわけですが、何回かチャレンジするなかで、まず基礎基本なことを押えたいと思いますので、学校に働きかけて力をつけていきたいと思います。

委員長 試験問題の作成は大変だったと思います、ご苦労様でした。試験問題にはホップ、ステップ、ジャンプと3段階ありますが、受けた割合はどうなっていますか。

学校教育課長 小学校の算数で、ホップ22%、ステップ59%、ジャンプ19%です。中学校の数学で、3級50%、2級38%、1級12%です。級等の合格認定に係る正答割合は検討中です。

田中委員 いい点を取ったら、次回は上の段階に挑戦することになるのですか。

学校教育課長 3段階ありますので、例えばホップに挑戦してクリアした場合は、次回はステップに挑戦します。または、ステップに挑戦してクリアできなかつたら、再度挑戦することになります。特に意欲を高めることを目的としていますので、クリアして満足してしまわないように、例えば一番上のジャンプの問題も、なかなか満点を取れないような配慮をしています。また、例えばジャンプで95%以上の正答を2回行うとエクセレントとして認定するなど、さらに上の段階を設定することも考えています。

委員長 本日の議事はすべて終了いたしました。  
次回第10回定例会は10月9日（火）午後1時30分開会です。

以上で、平成24年深谷市教育委員会第9回定例会を閉会します。